

あなたも、となみん。

やっぱり

となみ
砺波で暮らそう。



砺波市移住定住ガイドブック

となみ
富山県砺波市



広大な砺波平野に、屋敷林に囲まれた家々が点在する、どこか昔懐かしい景色。

“日本の原風景”といわれる、この「^{さんきよそん}散居村」こそが、^{となみし}砺波市の特徴です。

春は屋敷林を訪れるウグイスの声に耳を傾け、夏は水田を吹き抜ける風が稲穂を揺らし、

秋は庭の柿が赤く色づき、冬は白一面の世界が広がる。

ここでの生活には、四季折々の趣きがあります。

豊かな自然とともに暮らす砺波の人たち(となみん)は、生き方が自然体。

季節の移ろいを感じ、自然の恵みに感謝し、人と人が支え合いながら生きる。

そんな温かい風土の中で、飾らない暮らしをしてみませんか。

あなたも“**となみん**”



農村ののどかさ 都市の利便性が調和する 「便利な田舎」

交通 渋滞がなくストレス0!
広い道と広い駐車場でペーパードライバーも安心!
砺波平野は坂道も少なく、自転車移動もラクラク!



通勤ラッシュでも渋滞しない

買物 生活に必要なものは何でも揃う!
わざわざ遠くの市まで運転する必要がない!
スーパーマーケットや大型小売店舗が充実!



大型ショッピングセンターと周辺

通信 ネット環境も充実!
ケーブルテレビ、大手通信会社の光通信など
ブロードバンド網が市内全域で利用可

医療 地域医療が充実!
公立総合病院や個人病院など、
近所に各種医療機関がたくさんあって安心!
公立総合病院は24時間体制で
救急外来に対応!



砺波総合病院



自然 のびのびと暮らせる!
水がきれい! 木々や草花など緑がいっぱい!
広い庭で家族ものびのび!



日本の原風景でホッとのおんびり



四季がはっきりわかります



砺波の伝統家屋



出勤前に鮎釣りも



自転車でも移動がしやすい!



空気もいい大自然
カモシカに会えるかも?



水と木々が美しい庄川峡

食べる 食べ物がおいしい!
水が綺麗だから、お米、お酒、どれも
格別! 大手飲料水メーカーの水源にも!
スーパーで売っている野菜や魚が
とても新鮮!

安心 地震や台風等の
自然災害が少ない!
全国的にみても自然災害がとても
少なく安心! 地域の見守りもしっかり
していて犯罪も少ない



あなたに、ぴったりの田舎暮らしはどれ？

～初級・中級・上級編～

砺波には、大別して3つのエリアがあり、それぞれに魅力的な田舎暮らしが満喫できます。

初級 ● 便利な市街地エリア

まず、都会から移住される方にとって、初級の田舎暮らしにあたるのが、“市街地エリア”です。ショッピングモールなどの商業施設や病院、福祉施設、教育機関などが徒歩圏内に点在しているため、日々の暮らしや子育てに大変便利。JRやバスなども走っているため、他市へのアクセスも良好です。

中級 ● のどかな散居村エリア

中級の田舎暮らしは、市街地のすぐとなり広がる“散居村エリア”。屋敷林に囲まれた古民家で、昔ながらの暮らしを味わいたい人におすすめです。見渡す限りの田園風景や、ご近所さんとの温かいふれあいが日常に安らぎを与えます。

上級 ● 緑深い里山エリア

上級の田舎暮らしは、庄川の東側に広がる“里山エリア”。色濃い木々やきれいな空気に囲まれて、大自然の息吹を感じながらのスローライフを満喫したい方におすすめです。小鳥のさえずりや季節の草花とふれあい、山菜やきのこなど里山ならではの恵みを楽しむ自然と共生した贅沢な暮らしが魅力です。その分冬は雪深い地域ですが、市街地まで車で10分ほどの距離で不便を感じさせない点も、砺波の里山暮らしのいいところです。

あなたのライフスタイルに最適なエリアは、どれでしたか？移住前のちょっとした参考にしてくださいね。

砺波市の概要

砺波市は、富山県西部に位置し、市域を縦貫する一級河川「庄川」によって形成された砺波平野には、屋敷林に囲まれた家々が点在する「散居村」が広がっており、その景観は日本の農村の原風景とも言われ全国的に知られています。

また、多種多様な商業施設が揃い、医療や子育て環境・高齢者福祉なども充実した日本有数の“住みよさ”を誇る、便利な田舎暮らしが魅力の地方都市です。



●人口・世帯(平成31年2月末現在)
48,566人(男:23,630人 女:24,936人)
16,929世帯

●地勢
面積 127.03平方キロメートル
東西延長 14.3キロ
南北延長 16.2キロ
最高標高 987メートル(牛嶽山頂)

散居村とは

砺波地方には、約7,000軒にもおよぶカイニョと呼ばれる屋敷林に囲まれた農家が点在しています。この緑豊かなカイニョに囲まれた家々が、平野一面に碁石を散りばめたように点在する昔なつかしい農村の姿を「散居村」といいます。

散居村では、季節の移り変わりを肌で感じながら、そこに暮らす人々の生活と地域の魅力に触れることができます。

田植え前、水の張られた田んぼに映る夕焼けの幻想的な眺めや、緑いっぱい夏の収穫を迎える黄金の田んぼ、雪の積もった景観など、四季折々の風景が人々を魅了するのです。

こまやかな心遣い～スローライフと安全、安心～

散居村にある農家には、伝統的家屋である「アズマダチ」「マエナガレ」といわれる大きな民家があります。この家屋を包むようにカイニョが植えられているのは、風雨や吹雪、冬の寒さや夏の暑さを和らげてくれる生活の知恵。自然とともに生きる豊かさ、優しさを実感できます。

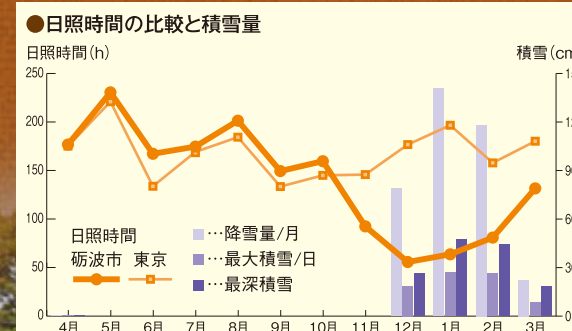
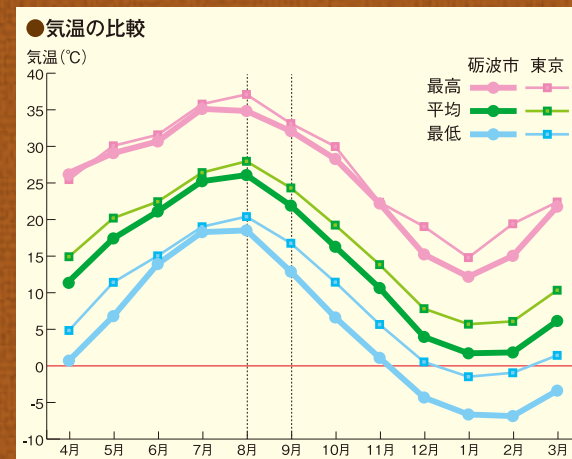
地域の見守りがしっかりしているがゆえに、犯罪や火災の発生件数が少ない砺波市。地域コミュニケーションがしっかりした、安全、安心な環境が整っています。また、喜んで人を迎える風土があり、ゆったりとして素朴、優しい人間性にあふれた地域です。

まちと自然が共存した、理想の“都会田舎”

砺波市は、散居景観に代表される自然豊かな田舎の雰囲気を残しながら、交通の便が良く、ショッピングセンターや医療機関、教育施設が充実した、まさに理想の“都会田舎”。

民間調査会社が発表する住みよさランキングにおいて、常に上位にランクインする全国屈指の“住みよい”まちです。

砺波市の気候



冬には雪が降る日本海型の気候

その年によって違いはあるものの、年間の平均気温は、約14度です。夏には最高気温が35度を超えることもあれば、冬には、氷点下になることもあります。

年間降水量は、2000mmを超え、概ね12月から3月にかけて雪が積もる、典型的な日本海型の気候です。

●ポイント

日本らしい四季を、しっかりと感じられます。9月になるとだんだん気温が下がり、夏の終わりや秋の訪れをハッキリと感じられます。

夏の日中はとても暑いですが、夜から朝方に気温が下がるので過ごしやすいです。

冬は、日照時間が大変少なくなりますが、気温は意外と暖かいです。一番気温の下がる1月、2月でも、平均気温が氷点下になることはありません。

近年は、雪が大変少なくなっています。平均的な年で1日の最大降雪は約30cm、最深積雪でも約50cmです。毎日雪が降り続くと言うより、ある期間に集中して降ることが多いです。



●夏にエアコンは必要ですか？

北陸の夏は高温多湿。例年、8～9月にかけて最高気温が35度前後になる蒸し暑い日が続きますのでエアコンは必須です。しかしながら、砺波地方の伝統家屋は背の高い屋敷林に囲まれているため、木々が夏の強い日差しを遮る役割を果たしてくれます。

また、家々が点在しているがゆえに、隣近所の目を気にせずに、大きな窓を開け放して自然の風を取り込むこともできるため、実際の気温よりもきっと涼しく感じることでしょ。

●雪に対する備えは？

スキーに雪合戦に雪だるまづくり…砺波の子どもたちにとって雪は最高の遊び友達。でも、移住される方にとって、雪のある暮らしはちょっと心配かもしれません。

冬は、厚手のコートや手袋などの防寒具や、長靴・ブーツなど足元の雪対策が必要です。平野部では、屋根雪下ろしが必要なほどの降雪はめったにありませんが、玄関前の雪かきをするための「スコップ」や「スノーダンプ」などの除雪道具はあったほうが良いでしょう。

市内には消雪パイプが張り巡らされており、さらに、消雪パイプが無い道路でも積雪10cm以上で除雪車が出動しますので、通勤通学時に雪で動けなくなる心配はありません。車を運転するときは、通常12月中旬頃～3月中旬頃までの間、冬タイヤ(スタッドレスタイヤ)の装着が必要です。雪道の運転も、何度か運転すれば徐々に慣れてきます。安全運転で、冬の砺波ライフを満喫しましょう。

●冬の暖房代(灯油代)は？

建物の構造や日中の日当たりなどにもよりますが、11月後半から3月中旬頃までの期間、ストーブやコタツなどの暖房器具を使用します。灯油代は一般的な一戸建住宅だと月2万円位です。(家の築年数や、断熱構造の違いなどによって差があります。)



会社員 寺輪唯さん 保育園 寺輪瞬さん 製造業勤務 寺輪潤一さん



子どもを大事にしてくれます。このような良い環境で暮らしているから、砺波には良い人たちがいっぱいいる。そんな環境で自分たちも暮らしていけば、穏やかな人になれる。そう思える街ですね。幅広い世代の交流があるからこそ、モラルが受け継がれ、街そのものもゴミがなくきれいなかもしれません。その隣で唯さんは砺波についてこう言います。「流れている時間がすごく穏やかで、人も優しいです。砺波は、人や景色などお金で買えないものが贅沢で、そこがいいところだなと思います」。

砺波の魅力を発見する達人ともいえるご夫妻の今の夢は、新しいマイホームに小さな畑を作ってお子さんと一緒に土にふれること。3人の明るい未来に向かって、砺波という地に根を張っていきます。



移住者 となみん インタビュー ①

優しい人を育む “環境”に、 明るい未来を見ました。

初めての砺波で見た、 散居村風景の美しさが忘れられず

寺輪さん一家はかつて、三重県にある砺波とほぼ同じ人口の地域に住んでいましたが、現在は砺波市内のアパートで暮らしています。「砺波がいいという思いは、移住後もまったくぶれません」と、マイホームの完成を待つ毎日です。

そんなご家族が砺波を初めて訪れたのは、2016年夏のこと。北陸を旅行する計画を立てた際、金沢で宿が取れず、偶然知った庄川温泉郷の旅館に予約をしたのが、砺波との最初の出会いです。「夕方に散居村を車で走っていた時の景色がすごくきれいで、その景色がずっと心に残っていました」。砺波に興味を持ち始めたご夫妻は、その1か月後に開催された2泊3日の砺波市移住体験ツアーに参加。砺波の人の温かさや、散居村の美しさにふれると

ともに、保育園や病院などの施設が充実していることを知ります。

三重では、子育て環境に悩んでいたご夫妻。お子さんはいわゆる待機児童で保育園に入れられないため、一時預かり保育を利用してご夫婦が交代でお子さんを見ていましたが、その制度も1か月で10日間しか利用できません。また、病院が少ないことも大きな不安材料でした。

また、ツアーで獅子舞の練習を見学した際には、砺波の人たちの『人としての姿』に感銘を受けたといいます。「指導者に対する子どもの姿勢も、子どもに対する大人の姿勢も真剣で、人として素晴らしいと思いました。また、子ども同士で獅子舞を教え合うことも伝統的に受け継がれていると感じ、砺波は地域で子どもを育てられる環境だと思ったんです」。

待機児童ゼロだから、 仕事と育児の両立が可能

砺波に移住したのは、同ツアーから半年後の2017年3月。その前に現在の勤務先への就職を決めていた潤一さんは、これまでの塾講師とはまったく異なる製造業の営業職に就くことになりました。生活だけでなく、仕事も一新することに抵抗感はなかったのかと思いきや、「仕事も新しいことに挑んでみたかったです。移住は、未知の世界に挑戦する好機にもなりましたね」と前向きです。

砺波の待機児童数は0人。お子さんは、移住と同時に保育園に入り、お子さんが園にいる間はご夫妻がそれぞれに勤務先で働けるようになりました。「子どもは最初、「ズック（上履き）持ってきて」と言われても方言が分からずぼかんとしていましたが、今は上手に話しています。竹取りや芋掘り

など、保育園生活を満喫しています」と笑顔で話す唯さん。潤一さんも子育てに積極的で、「子どもの予防接種で病院に行った時には、お父さん率の高さにビックリしました。母親に任せきりではなく、父親も育児に参加する砺波の風土がいいですね」と微笑みます。

お金で買えない 大切なものが贅沢

全国的に核家族化が進む今、砺波も同様の道をたどっていますが、潤一さんの目にはまた別の角度からの魅力が映っているようです。「大人数の家族で買い物を楽しんでいる光景や、年頃の子が当たり前のようにお年寄りと一緒にいる姿を見ることが多く、心が和みます。また、うちの子がお年寄りとすれ違った時には頭を撫でてくれたりと、

寺輪潤一（てらわ・じゅんいち） 1983年（昭和58年）、三重県出身。大学進学時に関東方面に移り住むが、その後Uターン就職。三重県で塾講師として働きながら、唯さんと結婚。移住体験ツアーから半年後に移住を実現できたのは、唯さんと思いが一致していたことが大きい。現在はマイホーム建設中で、2019年9月に完成予定。
寺輪唯（てらわ・ゆい） 1988年（昭和63年）、三重県出身。唯さんも結婚前は塾講師を務めていたが、結婚・出産を機に退職。砺波に移住してからは、社員として事務職に勤しみながら育児に励んでいる。

●砺波の子育て情報はこちら
やっぱり砺波で暮らそう ▶ 子育て



硝子加工メーカー勤務 半田 耕平さん
専業主婦 半田 恵理香さん

移住者 となみん インタビュー ②

子どもをのびのび育てたくて、 静かで自然豊かな散居村へ。



移住の目的は、
子育て環境の改善でした

広大な田園風景の中に家々が点在する、砺波平野の散居村。京都府出身の半田耕平さんは、奥様の恵理香さんが生まれ育ったその地で、3人のお子さん、恵理香さんのご両親とともに暮らしています。以前は、耕平さんが務める出版社の団地で暮らしていましたが、生活音が階下に響くほど古い建物で、電車の騒音に悩まされる立地だったため、砺波を訪れるたびに、「自然豊かな散居村で子どもをのびのび育てたい」という思いが膨らんでいきました。

恵理香さんの実家に移り住んだのは、2018年3月下旬。散居村は隣家と程よい距離感があるため、子どもたちが自由に走り回れるようになりました。「カエルを触ったのも、ホタルを見たのも初めて。目に映るものが新鮮だからか、子どもたちの行動が活発になりました。雪山をソリで滑ったり、自宅の畑で野菜を収穫したりと、今までできなかった遊びをたくさんしています」。また、以前は交通量が多い中、約3kmの道のりを歩いて通学していましたが、今は近くのバス停からスクールバスに乗れるため、ご夫妻の安心感も大きくなりました。

核家族生活から、
持ちつ持たれつの3世代同居へ

お子さんはまだ幼く、自分の環境に対して考えを持つのは難しい年齢です。ご夫妻は移居前、自分たちが理想とする子育てをするために、お子さんの友人関係を絶つことにためらいがありました。しかし、「環境が変わっても友達を作っていますし、地域の子どもたちや保護者の方が積極的に声を掛けてくださり、行事にもよく参加しています。想像以上に楽しんで生活しているので良かったです」と笑顔の結果に結びついているようです。

核家族生活から3世代同居へと、家族構成も変化。普段はご両親と生活時間帯が異なるため、互いに程よい距離感を保っていますが、雪かきや草刈りなどの時にはガッチリとタッグを組みます。「両親に子どもを預けられるので、夫婦だけで過ごす時間が増えました。また、海や山など遊び場がいっぱいあるので、子どもたちと出かけることも増えましたね。家族7人で出かけることもあります」。家族構成の変化は、家族関係にも好影響をもたらしているようです。これからも家族みんなの楽しい思い出が、砺波でたくさん育まれていきそうです。



半田耕平(はんだ・こうへい)さん 1979年(昭和54年)、京都府出身。5歳の時に滋賀県大津市に移り、大学卒業後、奈良県の出版社に勤務。ちょうどその頃に恵理香さんと出会い、結婚。子育てにふさわしい環境を考えた結果、2018年3月下旬に砺波に移住。現在は、恵理香さんの実家でご両親と3人のお子さんとともに暮らしている。
半田恵理香(はんだ・えりか)さん 1987年(昭和62年)年、富山県出身。中学校卒業後、介護の勉強がしたいと、卒業時に介護士の受験資格が得られる奈良の高校へ進学。卒業後は奈良にとどまり、介護士として病院に勤務。長女の出産を機に退職。



農業法人勤務 松森拓郎さん

移住者
となみん
インタビュー
③

仕事も場所も何事も、
やってみないと分からない。



移住のきっかけは、
農業への熱い想いでした

砺波には、果物や野菜、焼き物、そうめん、そばなど、全国に誇る名産品「となみブランド」があります。そのひとつが、米や花き類を生産している農業法人「センティア」のチューリップ切花。松森拓郎さんは、2018年3月末から同社の社員としてチューリップ切花の生産などに携わっています。

以前は神奈川県茅ヶ崎市の農業水産課に所属し、農家に対して補助金申請のサポート業務などを行っていましたが、次第に「自分で農業をやりたい」と思うようになり、農業をしながら暮らせる地域を探し始めたのが、移住のきっかけです。最初は他県も候補に挙げていましたが、奥様の実家がある富山県に絞り、農業法人などの情報収集に力を注ぎました。そんな時にセンティアに出会い、ボックス栽培など新しい技術に挑戦する姿勢に強く惹かれたのが、入社決め手です。

ボックス栽培とは、大型のプランターに球根を植えて冷蔵庫で保管し、温室で開花調整を行う栽培方法のこと。そしてつぼみが開く前に花を収穫し、箱詰めをして出荷します。その収穫作業が、今の松森さんの仕事。「次々に新しいボックスが目の前に運ばれてくるので、時間との戦い

です。多くの花を効率よく収穫できたときに喜びですね。住む場所、働く場所、周りの人、すべてが新しい環境の中、ゼロからコツコツと積み上げている最中です。

便利でどのかな砺波で、
シンプルな生き方を

松森さんは、静岡で生まれ育ちましたが、大学進学のために神奈川に移り住んでからは千葉、京都と、さまざまな土地で暮らしてきました。入社と同時に奥様と住み始めた砺波もすでにお気に入りのようで、「アパートの近くにはスーパーやドラッグストア、図書館などがあり、利便性では神奈川と大差ありません。人混みや満員電車が無いのもいいですね。道が広くて気持ちがリラックスでき、余計な誘惑がないので、仕事と家族に集中できる環境です。よりシンプルに生きられる場所ですね」と微笑みます。

今は仕事を覚えることに精一杯で、まだ地元の人々とは触れ合う機会がないそうですが、「もっと地域の行事に携わってみたいですね。何事もやってみないと分からないので」と意欲的。好奇心と行動力で、砺波の人たちとも交流を深めていくのでしょう。

松森拓郎(まつもり・たくろう)さん 1982年静岡県出身。大学卒業後、民間企業、京都府教育委員会を経て神奈川県茅ヶ崎市の市役所職員に。東日本大震災の際は被災地へ1年間派遣された経験も。2018年3月末センティアに入社し、現在に至る。



地元 となみん インタビュー

「えんなか会」の活動。定期的に囲炉裏で火をたいて文化財を守っています。



オリジナルの観光ツアーで、砺波愛を広める。

河合 要子さん (ウイズケイ、KO・RA・RE)

ありのままの砺波の魅力を、
いろいろな角度から紹介する。

砺波の人たちの暮らし方を愛してやまない河合さん。「その暮らし方を多くの人に知ってもらうことで、砺波を好きになる人が増えていってほしい」という思いから、2014年に3人の女性とともにグループ「KO・RA・RE」を結成しました。観光ガイドに必要な技術や企画力などを学んだ後、女性4人の豊かな発想やユニークな視点でさまざまなツアーを実施しています。

砺波には、庄川ゆず、大門素麺、チューリップ球根、庄川おんせん野菜、せんだん山そばなど、砺波が誇る地域産品「となみブランド」があります。その生産者のもとを訪れ、生産者と直接ふれあい、生産者の暮らしを体験できること



が、「KO・RA・RE」ツアーの最大の特徴です。

また、体験をすること、自分の足で移動することも、ツアーの決めごと。「去年は、そば畑でそばの花でミニブーケを作りましたが、あまりの牛糞臭さにみんなで大笑いしました。こういう体験を通して、美味しい蕎麦を作っていることをお伝えすることもできます」と微笑む河合さん。ありのままの砺波をいろいろな角度から切り取る独自性の強いツアーを通して、砺波の魅力を伝えています。

砺波への移住をお考えの方へ。

河合さんが考える、砺波の見方。

河合さんの本業は、イベントの企画・設営・施工を行う「ウイズケイ」の代表取締役。砺波チューリップ公園や周辺を無数の光で彩るイベントなどを手がけています。本業の傍ら、「KO・RA・RE」だけでなく、砺波市の指定文化財「旧中嶋家」を管理するボランティア団体「えんなか会」にも所属。それらの活動の根底には、砺波への愛が感じられます。そんな河合さんに、砺波の魅力を聞いてみました。

「砺波は、スーパーや大型ショッピングモールなどもあり、とても暮らしやすいところです。生活に便利でありながらも、



豊かな自然に恵まれた本物の田舎暮らしも体験できるまち。また、子育てに関しても、私が子育てをしていたときよりも、今の方が行政の手厚い支援を受けられます。急に子どもを預けなければならない状況になっても、身近な保育園や幼稚園が柔軟に対応してくれるそうなので、育児と仕事を両立しやすい環境が整っています。砺波は、住んでも後悔させないまちですよ。

河合さんの話す言葉からは、砺波を愛する思いがひしひしと伝わってきました。彼女の話を知っているだけで、こちらまで自然と元気になれます。

河合 要子(かわい ようこ) 1967年、砺波市野村島生まれ。22歳の時に、看板・イベント業を行う会社に入社し、23年勤務する。2012年、「ウイズケイ」を設立。2014年、「KO・RA・RE」設立。同年、「えんなか会」に所属。その他、「城端線もりあげ隊」「金星石を語る会」にも所属し、砺波の魅力を広め続ける。



柴田泰利(しばた・やすとし) 1983年、砺波市庄川生まれ。2006年、国立静岡大学農学部卒業後、Uターン。同年10月に「泰栄農研」に入社。2015年3月、取締役就任。全国農業者会議プロジェクト発表で優秀賞受賞。

温泉を生かして、砺波の新しい味を生み出す。

柴田泰利さん(泰栄農研)

柴田さんは、「となみブランド」の認定商品である「庄川おんせん野菜」の栽培に勤む若手の農業従事者です。学生時代は、設計士を夢見て他県の大学に進学しましたが、家業の「泰栄農研」を継ぐためUターン。以来、同社で働いています。

同社のある庄川地域は、庄川清流温泉が豊富に湧き出る地域。その温泉の成分が野菜に必要な栄養を含んでいることに気づき、2013年にその温泉を使って野菜の栽培をスタートしました。それが、庄川おんせん野菜の始まりです。想像以上に健やかに育ったため、庄川清流温泉の成分表を仲間とともに作成。その結果、庄川清流



柴田さんが育てたとっても甘いとうもろこし。

温泉はナトリウム、カルシウム、マグネシウムなどの成分をバランス良く、豊富に含む希少な温泉で、野菜づくりに最適なことが判明したそうです。特にトマトとトウモロコシは、食べたら味の違いが確実に分かります。どちらもあまりの美味しさに驚いてしまうほどです。

庄川おんせん野菜を広く知ってもらうために、ロゴマークも作製しました。その活動を先頭に立って進めているのも柴田さんです。「いろいろな人にロゴマークを使ってもらって、みんなで庄川おんせん野菜を盛り上げていきたいと思っています」と意欲的。砺波にお越しの際には、庄川おんせん野菜をぜひ味わってみてください。

祭りへの憧れから、ふるさと砺波へUターン。

佐藤丈寛さん(佐藤鉄工所)

砺波市には、各町内の人たちが木材や和紙を使って作る行燈山車「夜高行燈」があります。その美しい姿を見られる「となみ夜高まつり」は毎年6月に開催され、多くの人出で賑わいます。佐藤さんは「小学校の時からずっと夜高に関わっていて、社会人になってからも毎年東京から帰省して参加していました」というほど、夜高が大好きです。祭りを盛り上げるための団体「夜行会」の会長を務めた経験もお持ちです。

2010年に東京の金融系の会社を辞めて砺波へUターンしたのは、夜高への憧れが大きな理由でした。現在は、お父様が代表を務める「佐藤鉄工所」の社員として働いてい



夏の夜空に映える鮮やかな夜高行燈。

ます。「砺波には他から来た人を温かく受け入れるところがありますが、特に夜高行燈の製作に関わると、その町内の人たちとひとつになれるところがあります。移住をお考えの方も、Uターンで戻られる方も、ぜひ町内の行事などに参加してください。地域の人たちと仲良くなることで、都会では味わえない温かい暮らしができると思います」と話す佐藤さん。佐藤さんは、一度砺波を離れたからこそ、砺波の良さを再認識し、自分の人生にとって何が1番大切かをおのずと感じ取れたのかもしれない。誰にとっても自分らしく生きられる場所が、きっとあるはず。砺波には自分を正直にさせる、人間味あふれる暮らしがあります。



佐藤丈寛(さとう・ともひろ) 1983年、砺波市広上町生まれ。大学卒業後、東京の金融系の会社に就職したが、2010年にUターン。お父様が代表を務める「佐藤鉄工所」の社員に。2016年度「夜行会」会長を務める。

家族とゆったり豊かな暮らし

人口1人あたりの
都市公園面積 **20.08m²**

●全国平均 10.24m² 国土交通省「都市公園等整備現況調査」(平成27年)

広々した
環境で
楽しい休日!

持ち家比率 **79.3%**

●全国平均 62.3% 総務省「国勢調査」(平成27年)

広い家で
子供も
のびのび
育つ

人口1人あたりの
県民所得 **3,185千円**

●全国平均 2,868千円 (富山県)
内閣府「国民・県民経済計算年報」(平成26年)

経済的
にも豊かな
暮らし

安心・安全なまち

病院病床数 **19.8床**

●全国平均 12.3床
厚生労働省「医療施設調査」(平成29年、人口千人あたり)

急な病気で
安心!

火災発生件数 **1.42件**

●全国平均 2.88件
消防庁「消防白書」及び富山県消防課「消防防災年報」(平成28年、人口1万人あたり)

防火意識も
高い!

犯罪件数 **6.21件**

●全国平均 7.85件
警察庁「警察白書」及び富山県警本部「市町村別の犯罪」(平成28年、人口千人あたり)

地域の
見守りで
安心した
暮らし

有感地震回数 **4回**

※全国で2番目の少なさ (富山県)
気象庁「地震・火山月報」(平成28年)

災害が
少なくても
防災意識は
高い!

数字から と 見る砺波

砺波市の魅力を
全国比較のデータで
まとめました。



働きやすい子育て環境

女性就業率 **54.3%**

●全国平均 48.3% 総務省「国勢調査」(平成27年)

共働きて
家計にゆとり

待機児童の人数 **0人**

厚生労働省「保育所等関連状況とりまとめ」(平成29年)

子供が
いても
働きやすい

保育所等入所率 **62.8%**

●全国平均 42.5% 厚生労働省「社会福祉施設等調査」(平成28年)

認可保育園
で安心!

自分らしい生活スタイル

有効求人倍率 **2.85倍**

●全国平均 1.63倍 厚生労働省「富山労働局月報」(平成30年12月)

専門職や
サービス業の
求人多数!

市民の約**70%**が
通勤時間**30分未満**

●関東圏の平均通勤時間 51分
2015年国民生活時間調査、砺波市アンケート調査

富山市、
金沢市も
通勤圏内

民営住宅の家賃 **4,103円**

●東京の家賃 8,562円 (富山県)
総務省「小売物価統計調査」(平成29年、1ヶ月 坪あたり)

家賃が安くて
将来設計も
バッチリ

移住のための家探し



不動産屋さんを通じた家探し

砺波市内には、民間の不動産業者が取り扱う賃貸アパートや借家が豊富にそろっています。物件情報は、物件検索サイト等をご利用ください。

家賃の目安▶ 単身向け住宅 3万円台～5万円台 / 世帯向け住宅 4万円台～7万円台

【検索サイト】

- CHINTAI www.chintai.net
- SUUMO www.suumo.jp
- at home www.athome.co.jp
- LIFULL HOME'S www.homes.co.jp など

市営住宅

市営住宅には、低所得者向けの『公営住宅』と『公営型地域優良賃貸住宅』、中堅所得者向けの『特定公共賃貸住宅』の3種類があります。同居する家族がおり、入居世帯の収入月額(所得月額)が一定基準以下であることを条件に入居していただけます。

家賃は、世帯収入月額によって公営住宅・公営型地域優良賃貸住宅が1万円台～5万円台、特定公共賃貸住宅が5万円台～9万円台まで設定されています。入居条件や家賃、空き室状況などについては、下記お問合せ先までお尋ねください。

- 砺波市都市整備課 ☎0763-33-1111(代)



市街地近くで生活に便利な公営住宅です。(2DK～)



庄川地域にあるキレイな特定公共賃貸住宅です。(3DK)

砺波市空き家情報バンク

市内にある空き家の物件情報をインターネット上で公開しています。

砺波市ならではの伝統家屋や古民家、核家族向けの一般住宅までさまざまな賃貸物件や売買物件が登録されています。

- 最新のおすすめ物件はこちら [やっぱり砺波で暮らそう](#) [検索](#) ▶ 家探し

【空き家情報バンクの利用のしかた】

[ステップ1] 空き家情報の公開

登録された物件は、市のホームページ等にて情報公開しています。

【公開内容】

登録番号 / 賃貸又は売却の別 / 住所地(地域のみ) / 契約方法 / 希望価格 / 建物等の概要(面積、階数、構造等) / 利用状況 / 設備状況 / 主要施設等までの距離 / 位置図及び間取り図 / 写真など

[ステップ2] 利用登録 申込書の提出

ホームページ等を見て利用を希望する物件があった場合、「空き家バンク利用登録申込書」及び誓約書に必要事項を記入し、提出してください。

[ステップ3] 物件の交渉

物件登録時に選択された契約方法により、次のような手続きになります。

① 協定を結ぶ不動産業者の仲介を依頼する場合(間接型)

利用希望の申込みがあった場合、物件所有者へ市から連絡し、宅建業者が交渉を仲介します。

(この場合、法律で定められた仲介の手数料が発生します。)

② 当事者間で行う場合(直接型)

利用希望の申込みがあった場合、物件所有者へ市から連絡し、その後両方で交渉となります。

※ご注意…市は契約交渉に関与いたしませんのでご了承ください。

契約等に係る一切の紛争については、当事者間で解決願います。

物件購入額の目安▶ 5百万円台～2千万円台

- 砺波市企画調整課 砺波暮らし推進班 ☎0763-33-1111(代)

住まいのための支援制度

砺波への移住を手助けする住まいのため各種支援制度を準備しています。

詳しくは、17ページ「砺波暮らしの各種支援制度」をご覧ください。

移住の ための



仕事探し

就職したい方

フルタイム求人では土木技術者や介護職員、看護師など、専門職の求人が多い傾向があります。パートタイムでの求人では、調理スタッフやウエイター、清掃員、ヘルパー、販売員などが多く見られます。砺波市は高速道路、国道・県道など幹線道路も充実しておりますので、隣接市へ勤務する選択肢もあります。

【砺波市移住人財バンク】

砺波市が運営する無料職業紹介事業です。砺波市へのUIターンを考えている方の求職情報を公開し、砺波市内の事業所からのスカウトによるマッチングを行います。

●運営者：砺波市企画調整課 砺波暮らし推進班 ☎0763-33-1111(代)

【求人情報】

●となみ企業ガイド

砺波市の企業情報や求人情報をご覧いただけます。

●ハローワーク砺波 ☎0763-32-2914

定期的に求人企業説明会や面接会を開催しています。

●とやまUターンガイド <https://uturn.pref.toyama.lg.jp>

富山県への就職を希望する求職者と人材を求める県内企業とのマッチング支援サイトです。

●ヤングジョブとやま www.youngjob-tym.jp

若者の就職に関するさまざまなサポートを行っています。

起業・開業したい方

砺波市で新たに起業・開業される方への研修制度や各種支援制度をご用意しています。

【とやま起業未来塾】 www.toyama-mirai.com/

起業・開業を目指す人や新分野進出をめざす企業後継者などを対象とした起業実践塾を開催しています。

【砺波市ハイテクミニ企業団地】 www.ccis-toyama.or.jp/tonami/hitec/

市内外の企業に働く技術者で独立心と起業家精神の旺盛な方々や、新分野進出を志す方々にミニ工場・事務所を低料金で一定期間貸与します。

【起業・開業に対する支援・各種相談窓口】

起業・開業を目指す方に対して資金面での支援や情報提供などを行っています。

●砺波市商工観光課 ☎0763-33-1111(代)

●砺波商工会議所 ☎0763-33-2109 ●庄川町商工会 ☎0763-82-1155

補助金一覧▶17ページをご覧ください。

農業をやってみたい方

砺波市の散居村を形成する土地の大部分は農地であり、水稻を中心とした農業が行われています。米以外では、特産品のチューリップ球根や切花、ゆずやリンゴなどの果樹、たまねぎ、全国一の受託生産を誇る水稻種子(種粃)の栽培が盛んです。これから農業にチャレンジしてみたいという方には就農に向けた研修や給付金制度などの支援を行っています。

【農業体験】

農業体験をしてみたい方や田舎暮らしを体験してみたい方を対象に宿泊体験ツアーを開催しています。

とやま帰農塾(砺波塾)

●NPO法人グリーンツーリズムとやま ☎076-482-3161 gt-toyama.net

コシヒカリオーナー制度(田植え・稲刈り体験)

●砺波市役所内(公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011

チューリップファン倶楽部(チューリップ花摘み体験)

●砺波市役所内(公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011



【とやま就農ナビ】 ☎076-441-7396 taff.or.jp/nou/syunou-navi

富山県内への就農希望者に対して、就農までの流れや農業体験受入農家、求人情報などを紹介しています。

【就農に向けた研修】

富山県内への就農希望者に対して、農業の基本的知識や実践的技術を習得できる通年研修を実施しています。

●とやま農業未来カレッジ ☎076-461-3180 taff.or.jp/nou/college

【就農に対する支援】

砺波市では、農業に就業したい人に向けた情報の提供、支援などを行っています。

●就農相談窓口 砺波市農業振興課 ☎0763-33-1111(代)

補助金一覧▶17ページをご覧ください。

移住の ための



子育て

保育所・認定こども園・幼稚園

市内には保育所が10箇所(公立7、私立3)、認定こども園が5箇所(公立(幼保連携型)4、私立(幼稚園型)1)、幼稚園が4箇所(公立)があり、延長保育や一時預かりなどのサービスを提供しています。



【一時預かり】

仕事や入院・通院、冠婚葬祭等のために一時的に家庭で保育できなくなった場合に保育所等で一時的にお預かりします。(月曜～金曜日 午前8時30分から午後4時30分まで)

【病後児保育】

病気回復期のお子さんの看護が必要であるが仕事を休むことができない場合にお預かりします。(ちゅうりっぷ保育園 月曜～金曜日 午前8時30分から午後4時30分まで、事前予約・利用料金が必要です。)

小学校・中学校

市内には小学校が8校、中学校が4校あり、すべての学校の耐震化工事が完了しています。また、日中、保護者のいない小学校児童を対象に放課後児童クラブや児童センターなどを開設しています。

【放課後児童クラブ】

授業の終了後や春休みや夏休み、冬休み期間中に、保護者が仕事などの都合で児童(小学生)をみる事ができない場合に、お預かりします。

【児童センター・児童館】

放課後や土曜日等に児童の皆さんが自由に遊びに来ることができる施設です。

子育てのための助成制度

砺波で安心して子育てしていただくため、家計の助けとなる各種助成制度を準備しています。詳しくは、17ページ「砺波暮らしの各種支援制度」をご覧ください。

子育て支援事業

子育てのための各種支援事業を行っています。

● 砺波市教育委員会子ども課 ☎0763-33-1111(代)

事業名	対象者	内容	場所・時間
子育て支援センター	未就園児とその家族	遊びの体験、子育てに関する相談、子育てサークル等への支援、母親の交流、園児との交流などを行います。	【市内8施設】 月～金曜日 午前9時～午後3時
すくすく広場(保育所開放)	未就園児	保育所を開放し、遊びの体験・母親の交流、園児との交流、育児相談などを行います。	【市内6保育所】 年5回 午前9時～11時
あそびの広場(幼稚園開放)	未就園児	幼稚園を開放し、遊びの体験・母親の交流、園児との交流、育児相談などを行います。	【市内4幼稚園】 年5回 午前9時30分～11時
親子ふれ愛塾	未就園児までの子と親、祖父母	遊び体験、ふれ愛活動、育児相談などを行います。(要事前申込)	【苗加苑ほか】 4～3月まで年間10回 午前10時～11時30分
子育て・親育ち講座	児童の保護者	講師を迎えて、子育てについての講演会を行います。	【各小学校】 10月～2月
家庭児童相談室	幼児から高校生までの子ども及び保護者	家庭における子育ての悩み等について、専門的な相談に応じます。	砺波市教育委員会子ども課内 家庭児童相談室 相談時間/月～金曜日 午前8時30分～午後5時
ファミリーサポートセンター	0歳～小学校6年生のお子さん	仕事や家庭の都合で子育てを援助してほしい人と子育てを援助したい人が登録する会員制度です。市は援助してほしい人と有償ボランティアとして援助したい人の仲介を行います。	北部子育て支援センター 庄川子育て支援センター 受付/月～金曜日 午前8時30分～午後5時

公園・遊び場情報

市内の至るところに公園が整備されており、子育て世代の憩いの場となっています。

詳しくは、砺波市子育て支援ガイドをご覧ください。 [砺波市子育て支援ガイド](#) [検索](#)



おとぎ話のような雰囲気の「砺波チューリップ公園」



飛行船のような遊具が楽しい「風の丘公園」

砺波暮らしの各種支援制度 詳しくは

※下記支援制度はH31年4月1日現在の情報です。各支援制度の対象の可否や助成金額などの最新情報については、あらかじめお問合せください。

	名称	概要	お問い合わせ
住宅等	定住促進 空き家活用 補助金	「砺波市空き家情報バンク」に登録されている空き家を購入し改修する場合、または空き家を賃借する場合、費用の一部を助成 ・空き家を購入する場合 改修等経費の1/2(上限50万円) ※三世代同居するために改修する場合は、改修等経費の3/4(上限100万円) ・空き家を賃借する場合 家賃月額1/2(上限1万円、2年間)	砺波市 企画調整課 ☎0763-33-1111
	住みよい家づくり 資金融資	子育て世帯や県外からの定住世帯を対象に、住宅の取得やリフォームのための資金融資に対して、金利の優遇と利子の一部を補給(平成30年度 優遇金利1.6%、利子補給0.6%相当)	富山県 建築住宅課 ☎076-444-3355
	三世代同居 住宅支援事業 補助金	三世代同居・近居住宅の新築、増改築に対して、対象となる工事費用の一部を助成 ・同居の場合：工事費用の1/10(上限20万円) ・近居の場合：工事費用の1/20(上限10万円)	砺波市 都市整備課 ☎0763-33-1111
	木造住宅 耐震改修支援 事業費補助金	対象となる木造一戸建て住宅の耐震改修工事費の8割を助成(上限100万円)	砺波市 都市整備課 ☎0763-33-1111
	木造住宅 耐震診断支援	通常5～10万円かかる耐震診断が、2～6千円の自己負担で行えるよう支援	(一財)富山県 建築士事務所協会 ☎076-442-1135
	高齢者が住みよい 住宅改善支援事業	65歳以上の高齢者世帯を対象に、住宅の便所、浴室、廊下、玄関、居室等のバリアフリー化を行うために必要な改修工事費の2/3を助成(上限60万円)	砺波市 高齢介護課 ☎0763-33-1111
	浄化槽 設置整備事業 補助金	下水道未整備区域において合併処理浄化槽を設置する場合に補助金を交付(例：5人槽40万円、6～7人槽50万円、8～10人槽65万円)	砺波市 上下水道課 ☎0763-33-1111
	散居景観保全事業	「散居景観を活かした地域づくり協定」を結んだ地区内の屋敷林の維持管理に要する費用の1/2を助成(上限：枝打ち25万円、育成15万円)	砺波市 農地林務課 ☎0763-33-1111
	生け垣設置補助金	生け垣植栽に要する樹木および資材の購入費の1/2について助成(上限30万円 ※生け垣の延長によって異なる)	砺波市 生活環境課 ☎0763-33-1111
	生ごみ処理容器等 購入費補助金	生ごみ処理容器等購入費の1/3を助成(上限：簡易生ごみ処理容器3千円、電気式生ごみ処理機1万円)	砺波市 生活環境課 ☎0763-33-1111
仕事(起業・資格)	空き店舗再生 みんなでチャレンジ 事業補助金	中心市街地の空き店舗や空き家情報バンクに登録されている物件を改修し店舗として活用する場合、改修費等対象経費の1/2を助成(上限200万円)	砺波市 商工観光課 ☎0763-33-1111
	地域資源活用事業・ 農工商連携事業 補助金	地域資源を活用した新商品の開発や普及、販路拡大および中小事業者が農業者と連携して新商品や新サービスを生み出すために必要な対象経費の1/2を助成(上限20万円)	砺波市 商工観光課 ☎0763-33-1111
	空き家再生等 推進事業 補助金	空き家を、交流施設、文化施設、体験施設等の用途に活用する事業に必要な経費に対し、補助金を交付(伝統家屋を改修し、「となみブランド」の消費拡大や販売促進につながる先導的な事業については、補助対象経費の2/3、上限1,000万円)	砺波市 企画調整課 ☎0763-33-1111
	空き家活用型 福祉施設 整備事業補助金	「砺波市空き家情報バンク」に登録されている家屋を活用し、対象となる介護または障害施設を整備した場合、経費の一部について補助金を交付(上限400万円)	砺波市 高齢介護課 ☎0763-33-1111
	介護職員初任者 研修費助成金	介護職員初任者研修の資格を取得するために要する費用(受講費相当額)の1/4を助成(上限2万5千円)	砺波市 高齢介護課 ☎0763-33-1111

	名称	概要	お問い合わせ
仕事(農業)	農業次世代人材 投資資金	50歳未満の就農希望者を対象に、就農前の研修期間(2年以内)に年間150万円、経営が不安定な就農直後(5年以内)に年間最大150万円を給付	砺波市 農業振興課 ☎0763-33-1111
	チューリップ球根 新規生産 振興事業	チューリップ球根の新たな生産者や栽培技術の習得等に対して補助金を交付 ・新規生産者 (1年目)45万円 (2年目)35万円 (3年目)35万円 ・栽培技術習得にかかる研修 10万円(補助率1/2) ・指導の匠による栽培技術指導 定額5万円/年	砺波市 農業振興課 ☎0763-33-1111
出産・子育て	不妊治療費 助成	対象となる特定不妊治療および特定不妊治療の一環として行う男性不妊治療について、1回につき15万円までを助成	砺波市健康センター ☎0763-32-7062
	不育症治療費 助成	不育症の検査や治療費用の一部を、1回の治療あたり30万円までを助成	
	未熟児 養育医療給付	指定養育医療機関で行う未熟児の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	
	妊産婦 医療費助成	対象疾病にかかった妊産婦の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	
	子育て支援 医療費助成	中学校卒業までの児童等の医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	
	ひとり親家庭等の 医療費助成	ひとり親家庭等に対し医療費の一部(保険診療分のうち自己負担額)を助成	砺波市教育委員会 こども課 ☎0763-33-1111
	児童手当	中学校卒業まで児童等を養育している場合に児童手当を支給(月額：3歳未満1万5千円、3歳以上小学校修了1万円(第3子以降は1万5千円)、中学生1万円)	
	とやまっ子 子育て応援券	3歳未満の児童をもつ家庭に、保育サービス等で利用できる金券「とやまっ子 子育て応援券」を配布(第1子は1万円分、第2子は2万円分、第3子以降は3万円分)	
	となみっ子 子宝券	平成27年4月1日以降に生まれた子どもを三世代同居で養育している場合に、子育て支援サービスに使用できるクーポンを配布(歳1・2子は1万円分、第3子以降は3万円分)	
	三世代 子育て応援給付金	三世代同居の孫世代の子どもを0歳から2歳まで自宅で育児した場合に給付金を贈呈(最大10万円)	
その他	高齢者 ちよっとねがらい 事業	三世代家庭の75歳以上の高齢者が年齢の節目(5歳毎)を迎えた場合、市内の宿泊施設等で利用できる利用証を進呈(上限1万円/1人)	砺波市 社会福祉課 ☎0763-33-1111
	介護者も ちよっと一息 事業	三世代家庭の65歳以上の要介護者(4または5)がショートステイを利用した場合、利用料の一部(対象となる自己負担相当額)を助成	砺波市 高齢介護課 ☎0763-33-1111

まずは、砺波の暮らしを体感してください!

砺波へ移住をご検討の方は、まず一度訪れて体感いただくことをおすすめします。

地元のサポーターが、あなたの移住を応援します! 地元の実情にも触れたいし、住民との交流もしたい、住居候補も探したい…など、ご希望に合わせた滞在プランも可能ですので、ご相談ください。

詳しい日程・詳細は、随時
ウェブサイトにて発信中!



砺波市移住定住応援サイト「やっぱり砺波で暮らそう。」

WEB www.tonami-life.net



伝統の
太い梁や柱に
圧倒されます!

生活体験

砺波市定住体験施設 佐々木邸

- 築100年以上の歴史がある、砺波地方の伝統的家屋!
- 通りぬける風、虫の声、植物のにおい…四季を感じる農村空間!
- 砺波市中心部まで車で5分、アクセスも良くて便利!
- バス、トイレ、キッチンなどの水廻りはバッチリ改修済みで安心!

築100年の
古民家を
ぜひ体験して
ください!

体験料 / おひとり1泊1,000円(連泊は1週間以内)、布団レンタルあり(1泊2日1,600円~) ※ご持参OK
利用条件 / 砺波市へ移住・定住されたい方および伝統家屋で生活体験してみたい方
設備 / 液晶テレビ、無線LAN、洗濯機、乾燥機、水洗トイレ、ユニットバス(エアコンはありません)
留意事項 / 台所での調理可。ただし食材、調味料、シャンプー、石鹸などの身の回り品はご持参ください。

移住体験ツアーも随時開催!

移住をご検討されている方のために、十分な情報を得られるブログラムをご用意しております。詳しくはウェブサイトをご確認ください。



TEL 0763-34-7180

E-mail info@sankyoson.com

となみ散居村ミュージアム 富山県砺波市太郎丸80番地

農業体験



砺波塾(とやま帰農塾)

地元の方と一緒に散居村の伝統文化をじっくり体験!
植え付けや収穫等その時季の地元特産物の農業を体験します。

●お問合せ・お申込み /
グリーンツーリズムとやま ☎076-482-3161
E-mail info@gt-toyama.net

コシヒカリオーナー

オーナーは年に2度、田植えツアーと稲刈りツアーに参加でき、農業体験しながら、地元の新米を味わえます。



●お問合せ・お申込み / (公財)砺波市農業公社 ☎0763-34-0011 E-mail tonamiag@cap.ocn.ne.jp

チューリップファン倶楽部

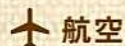
会員になると、砺波の特産品であるチューリップの生産を体験できるフラワー体験ツアーに参加できます。



となみ
砺波市への主なアクセス



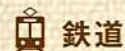
富山県砺波市



航空

富山きとときと空港から砺波市まで、車で約50分
富山きとときと空港からJR富山駅まで、バスで約30分

東京から **羽田空港** → 全日空(約1時間) → **富山きとときと空港**



鉄道

東京から **東京駅** → 北陸新幹線(約2時間40分) → **新高岡駅**

大阪から **大阪駅** → 北陸本線(特急)~北陸新幹線(約3時間) → **新高岡駅**

名古屋から **名古屋駅** → 東海道本線~北陸本線(特急)(約3時間30分) → **高岡駅**

高岡から **高岡駅・新高岡駅** → 城端線(約20分) → **砺波駅**

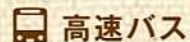


高速道路

東京から **練馬IC** → 関越~上信越~北陸自動車道(約5時間30分) → **砺波IC**

大阪から **吹田IC** → 名神~北陸自動車道(約4時間) → **砺波IC**

名古屋から **一宮IC** → 名神~東海北陸~北陸自動車道(約2時間40分) → **砺波IC**



高速バス

東京から(約7時間) / 大阪から(約5時間) / 名古屋から(約3時間) → **砺波駅**

移住・定住・空き家に関して、
お気軽にお問い合わせください。



あなたの移住・定住を応援します

となみ
砺波市役所 **砺波暮らし推進班**

E-mail **1073de.kurasou@tonami-life.net**

TEL **0763-33-1111**

※砺波市役所の代表番号ですので、「砺波暮らし推進班」を呼び出してください。
(受付時間/平日8:30~17:15) 〒939-1398 富山県砺波市栄町7番3号

最新情報は
ウェブで!

砺波市移住定住応援サイト

「**やっぱり砺波で暮らそう。**」

移住定住に関する詳しい情報や、耳よりなイベント情報などを発信しています。



WEB **www.tonami-life.net**

やっぱり砺波で暮らそう

いいね!
を押してね!

Facebook & ブログ公開中! / **「Team1073」**

砺波市外出身メンバーや地域おこし協力隊が、外から目線で感じたありのままを発信中。フォローして砺波のコアな情報をゲットしよう。



Facebook www.facebook.com/Team1073/

公式ブログ blog.city.tonami.toyama.jp/group/team1073

Team1073 となみ